

クリエイティブスペース

創造的な活動を支える実用書などを準備したクリエイティブスペース。モノづくりについてのアイデアが浮かびそうです。各種ワークショップにも対応可能です。



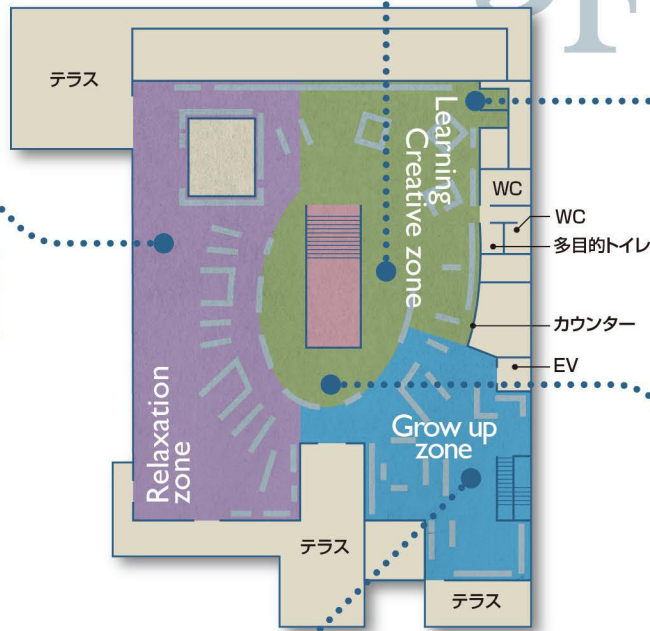
リラクゼーションスペース

趣味の本や、日々の暮らしに役立つ本が並びます。ゆったりと読書をお楽しみください。



主に10代のみんな向けの本や情報を集めたティーンズスペース。少しにぎやかになるかもしれませんが、大目に見てくださいね。

ティーンズスペース



ラーニングスペース

大人の学びを応援します。少人数グループのミーティングや読書会、サークル活動などにも利用できます。



アートスペース

芸術に関する本を集めたアートスペース。展示用のガラスケースが備えつけてあります。

地域とつながり、まちづくりに参加

まちなか図書館ワークショップ

まちづくりに参加しよう!

新しい図書館づくりについて意見を出し合い、まちづくりに参加しよう、という全3回のワークショップ。本について、館内での過ごし方について、活動内容について、とテーマを分けて行いました。みなさん積極的に議論を交わしあって、ユニークなアイデアがたくさん飛び出し、和気あいあい活気あふれるワークショップとなりました。このときの様子は、まちなか図書館開館準備室のホームページで紹介しています。→



bibliogare コラム

書店と図書館の連携

本の豊川堂 高須大輔氏

「図書館は本屋の敵なんじゃない?」って、図書館で本借りたら、買わないじゃない?とよく聞かれる。図書館は、国民に基本的な権利である知る自由を提供することが最重要任務とされる。それは、なくてはならない平等な権利だと僕は思っている。図書館は敵ではない。むしろ、地域の書店と地域の図書館は、民と公、それぞれの立場で郷土の文化や教育の発展、心身の豊かさに貢献する担いを持つ同士である。今後、連携し、協働することは必然となってくる。僕は海外研修に行くと、自由時間にその地域の図書館を見学に行く。図書館は各都市の歴史や文化の象徴で

あるとともに、役割が異なる複数が存在し、老若男女が目的に合わせてその場所を活用していた。もちろん、地域の書店とも多岐にわたり連携もしている。日本では7~8年前から空前の図書館ブームが到来し、図書館を中心としたまちづくりが提唱され、役割は多様なものへと変貌を遂げた。図書館は、知の拠点であるからこそ、安心できる活動の拠点として市民に開かれていく。そこから人づくり、まちづくりが始まっていく。来秋オープン「まちなか図書館」は、豊橋の明るい豊かな未来の拠点となる。固定観念をぶっ飛ばして、連携、協働することで、まちづくりに参画したい僕は思っている。



まちなか図書館概要



整備予定地
再開発ビル東棟
2F・3F

サービス概要(予定)

- 開館時期 令和3年11月以降
- 所在地 豊橋駅前大通二丁目81番 [豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発ビル東棟2階・3階]
- 開館時間 9:00~21:00
- 休館日 第4金曜日(祝日のときは前日) 年末年始、特別整理期間

詳しい内容については、HPをご覧ください

豊橋市まちなか図書館(仮称) 検索

蔵書冊数

ゾーン	収納可能冊数	座席予定数
ウェルカムゾーン	5,000冊	80席
アクティブゾーン	34,000冊	170席
ラーニング・クリエイティブゾーン	23,000冊	110席
リラクゼーションゾーン	28,000冊	100席
グローアップゾーン	16,000冊	60席
合計	106,000冊	520席



水上ビル側から見た再開発ビル(東棟)の完成予想イメージ

問い合わせ / 豊橋市まちなか図書館開館準備室 〒441-8025 豊橋市羽根井町48(中央図書館内) ☎0532-21-8181